

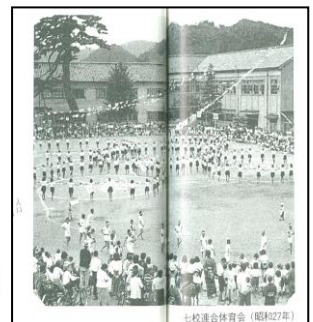


「第123回 香住小学校学校創立記念日」 10月1日

9月の全校朝会で、第123回となる学校の創立記念日について、映像を交えて、児童に話をしました。今から123年前のことで、もちろん誰もその当時のことを知っている人はいません。でも、学校には80周年と100周年の記念誌が大切に残されており、その中に当時の様子を伝える資料がたくさん、収録されています。

明治28年(1895年)9月1日、香住・森・下浜・一日市の尋常小学校が合併され、香住尋常小学校となり、さらに、10月1日、高等科が設置され香住尋常高等小学校となり、この日をもって本校の創立記念日としました。以来、今年で123年となります。合併当時の校舎の写真です。別の写真は、昭和10年頃の運動会の様子です。大松の下、多くの人に見守られながら、たくさん的人数で綱引きをしている写真があります。また別の運動会の写真には、昭和27年「七校連合運動会」とかかれています。現在は、香住区に小学校は6校ですが、そのころには、安木小学校があり、香住の七つの学校の高学年が集まり、香住小学校で春に運動会をしていた様子を伝えていきます。どの場面にも、大松が見守ってくれています。本校が創立されて以来、大松のごとくの質実剛健の精神は、校訓「至誠・剛健・協同」として卒業生の胸にも、貴重な人生の標(しるべ)として生きています。

創立記念日を迎えるにあたり、先人の労苦と町民の皆様の気持ちに感謝しながら、もう一度、子ども達と大切なことを受け継ぎ考える機会としました。



○自然学校が始まりました。

5年生59名は、24日から「絆 ～協力いっぱい・笑顔いっぱい～」をテーマに来賓の皆様、保護者の皆様に見送られ自然学校に出発しました。初日は三田浜で香住高校生の皆さんの指導の下、磯観察をしました。また、香住ロータリークラブの皆さんにお世話になり地引網とその後の海のめぐみをいただきました。網にはクロダイやアオリイカ、サメやエイまで、たくさんの魚が入っていて、香住の海の豊かさを実感し、この海を守ることの大切さも感じることができました。

三田浜での海の活動を満喫して、兎和野での山の活動へと移っていきました。晴れの日もあり雨の日もあり、登山や飯盒すいさんテント泊等、さまざまな自然学校での4泊5日の活動を通して、またひとまわりたくましくなっかってきてくれることでしょう。

*お知らせ

○養護教諭の病気休暇の延長により、引き続き、山本尚子先生に2学期以降も3月まで勤務していただくことになりましたのでお知らせします。どうぞよろしくお願いいたします。

○すでにプリントでご案内の通り「都市鉾山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」が始まりました。毎月、24日が回収日です。ご協力を、お願いします。